



高槻・五領の環境と
子どもの未来を

守る会 News

発行：高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会



新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては心穏やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

「守る会」を発足させて5か月が経過しました。「守る会」で何が出来るのか、何をすべきなのか、何をする会なのか。今年はこの辺の考え方、方向性を明らかにして活動して行きたいと思っています。

私の基本的な考え方は、次の1～5です。皆さんと課題を出し、また、楽しいイベントも企画して活動して行きたいと思っていますので、本年もよろしくお願い申し上げます。



1. 自治会間の見えない壁は、昨年的事件を契機に乗り越えられました。1つにつながった五領地区の大きな輪を大切に、高槻にあるどのコミュニティよりも輝きつつけること。
2. 基本は「守る会」を続けることであり、昨年のようなことが起こらないよう五領地区(高槻)の環境の監視を続けること。
3. 自治会、PTA、シニアクラブ、福祉委員会、民生委員等、いろいろな団体が活動していますが、情報共有という面で、又、時には活動面でも横断的存在になること。
4. 自らの活動や他の団体を支援する判断基準はこの五領地区のためになること。但し、利害関係者には配慮すること。
5. 達成感が得られるような、また、皆で楽しむ「守る会」にすること。

2018年1月27日

高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会

代表 上田 博夫



明けましておめでとうございます。

「守る会通信」も7号を迎えました。繋がり続ける企画の難しさを実感し始めています。

「産廃炉対策協議会」運動で多くの皆さんが、「地域のきずな・繋がり」の大切さに気付き、繋がりを実感し、今後もそれを大切にしたいと思われた事でしょう。「高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会」では、その活動を通じて今後も繋がり続ける事が「未来を守る」事と信じています。しかしながら、一般の日常の中でのこのような活動とは具体的に何をやる事の意味しているのでしょうか？これは、病気における、急性疾患に対する慢性疾患の対応に当てはまるような気がします。今年、この地域での私達にとっての日常的な地域の繋がりとはどういう事か？慢性期の対応を、上田会長をサポートしながら皆様と共に追求したいと思っています。

事務局長 村井正和

“防災・減災フォーラム” が実施されました

五領地区連合自治会と五領公民館の共催による「防災・減災フォーラム」が、1月20日（土）五領公民館に於いて、約100名余の参加者を集めて開催されました。



NPO 神戸の絆 理事 松山雅洋（まさはる）様による基調講演「**阪神・淡路大震災の事例から建物倒壊、火災の対応及び避難所運営について**」に続き、6名のパネラーによるパネルディスカッションがありました。防災の備えの必要性、地域での対応の概要を知ることが出来ました。

では、私達自身はどのように備え、対応し、行動したら良いのでしょうか？

まず、1月27日の、高槻市危機管理室の出前講座「**家族と地域を守る自主防災・減災講座**」でそのヒントを見つけ、考え続けていきたいものです。

“地域の歴史を歩く集い” 開催



“自分達の住んでいる地域を知ろう”と産廃炉反対活動有志の発案により、五領地区（一部島本町からも参加）の20数名が、去る1月13日（土）、この冬一番の冷え込みの中、高槻の郷土史家「西田善彦氏」の御案内で、西国街道沿いを中心に、約4Kmの行程を歩き学びました。午後には、上牧町の本澄寺に戻り、御住職より“三好達治”の話と、同寺頂上から広い視界を鑑賞しつつ、いにしえ当地の戦略上の重要地域であったことを再認識しました。

当日朝は寒波来襲でマイナス気温下、まずは神内町の“かんなび公園”に集合、案内人西田氏より、古代この地には山陽道の大原宿があったとされ、又、神様が宿するという神奈備の森と優美な祠があり、西国へ赴任する官人への最終別離の地として栄え、中世においては、南北朝が激戦を繰り広げた古戦場として、近世においては、関所と砲台を備えた戦略地との説明を伺い、西に向かって歩き始め、梶原一里塚を過ぎ一乗寺では、武蔵坊弁慶が駒を繋いだという樹齢千年の大楠を眺め、境内では五領アートプロジェクト有志による葦笛の雅な演奏を拝聴し、西国街道を更に西へ、畑山神社では、旧梶原寺が窯で建立中の奈良東大寺の大量の屋根瓦を焼いて送り届けた話。神社前の旧後藤商店で来る1月28日の催し“西国街道アートプロジェクト”を準備作業中のアーティストの皆様へ激励の言葉を送り、萩之庄自治会館に到着し、約1時間の座学。高槻に地が古代戦略上重要地であった事を色々な観点から解説があり、特に感銘深かったのは、丁度、背後の山腹に“安満の宮古墳”があり、今から20年前、大量の副葬品と共に5枚の銅鏡が発掘され、これらの鏡に中国の魏の同年代の銘が入っていて、魏志倭人伝に記録されている邪馬台国卑弥呼との関係が伺われ、国の重要文化財になっている鏡と寸分変わらない複製レプリカを西田氏が持参して下さり、全員が手に触れてみて大いに感激した瞬間がありました。

午後は、上牧町の本澄寺を訪ね三好達治記念館長を兼務する御住職より、同館内で三好達治の略歴、生前、平和憲法擁護に格別の熱意を注がれた話を伺い、最後に本堂に移動、参加者初体験の、地上10メートルを超すとされる屋上へ御住職の案内で登り、窓からの広い眺望と、この地が、奈良、京都、兵庫・播磨方面からの十字路として戦略上の中心地であった事を身をもって確かめ、御住職の話と共に大いに満足して散会。

帰途、参加者の皆様には、住民活動で産廃汚染からこの歴史豊かな郷土を守ったことを再認識し喜び合いました。

文 T. K



編集部

「守る会」は、個人会員を募集しています。



会の趣旨に賛同して頂ける方であればなたでも入会可能です。
「守る会」定例会は、毎月、第4土曜日
16:00～18:00、上牧公民館
(上牧町本澄寺前)で開催しております。

連絡は、事務局村井 (masa569@tcn.zaq.ne.jp) 迄

発行 : 高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会

代表 : 上田 博夫

住所 : 〒569-0003 大阪府高槻市上牧町
1丁目3-17 上牧公民館内

電話番号 : 070-3300-7149

ホームページ : <https://takatsukigoryo-mamorukai.jimdo.com>